

第41号

宇障連

福田富一栃木県知事揮毫

- ・発行責任者・
会長 麦倉仁巳
- ・編集・問い合わせ先・
宇都宮市障害者
福祉会連合会
☎320-0806
宇都宮市中央1-1-15
市総合福祉センター3F
- ・宇障連事務局・
TEL 637-7771
FAX 639-0663
- ・手話通訳専用・
TEL・FAX 636-1219
- ・印刷所・
藤崎印刷株式会社

LRT乗り方教室に参加しました

6月10日(土)、平石停留場でLRT乗り方教室が開催され、宇障連からは73名の方が2グループに分かれて参加をしました。

乗り方教室では、接近表示器の見方や軌道敷の渡り方、ICカードを利用した乗り方などを学び、開業に向けて更に期待が高まりました。



▲LRT車両の前で説明を受ける参加者

参加者からは「現金で支払うよりtotraカードのほうが便利だ」ということがわかった」「車イス利用者が一人で乗るのは難しそう」「初めてLRTを近くで見ても見られて良かった」「説明がわかりやすく良かった」などの感想がありました。

参加者からは「現金で支払うよりtotraカードのほうが便利だ」ということがわかった」「車イス利用者が一人で乗るのは難しそう」「初めてLRTを近くで見ても見られて良かった」「説明がわかりやすく良かった」などの感想がありました。



パネルで電子表示や現金での支払い方法の説明を受ける聴覚部会の参加者▶▶



線路内のエスコートゾーンやカードリーダーの点字表記を確認する視覚部会の参加者▶▶



totraカードでタッチの高さや車イスでの乗降を確認する父母部会の参加者▶▲



5月30日(火)、市総合福祉センターにてtotraカードの使い方についての学習会を開催しました。

学習会は関東自動車株式会社から講師をお招きし、視覚障がい者の外出を支援するガイドヘルパーを対象として、外出支援中、介助者と一緒にバスを利用した際のtotraカードの使い方や、福祉ポイントの使い方などを学びました。

その後、活発な質疑応答が行われ、有意義な学習会となりました。

totraカード学習会



新任挨拶 小島保健福祉部長

本年4月より、宇都宮市保健福祉部長に就任いたしました小島でございます。

宇都宮市障害者福祉会連合会の皆様には、日ごろから本市福祉行政の推進にあたり、多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

特に、「同行援護事業」「移動支援事業」や「手話通訳者派遣事業」などの福祉サービスにおきましては、利用者のニーズを的確に把握し、質の高いサービス提供に努めていただいております。本市といたしましては、大変心強く感じております。

また、平成21年5月に市庁舎1階に設置され、今年度14年目を迎えた障がい者支援施設等製品販売所「わく・わくショップU」につきましては、毎回、事業所の皆様に美味しいパンや手作りの小物などを販売していただき、障がいのある方の工賃向上につながる大きな成果をあげていることは、ショップの運営にご尽力いただいている皆様のご尽力の賜物であり、改めまして、心より感謝を申し上げます。

さて、本市におきましては、これまで「障がい者福祉プラン」や「障がい福祉サービス計画」に基づき、地域生活支援体制の充実や一般就

労・福祉的就労支援の充実、障がい福祉への理解促進など様々な施策事業を推進してきたところであります。

そのような中、昨年10月に、本県において「第22回全国障害者スポーツ大会（いちご）一会とちぎ大会」が開催され、本市においても、市内の小中学生など、多くの市民がパラアスリートの活躍を間近で観戦し、障がいや障がいのある方への理解が一層深まったものと考えております。

本市といたしましては、本大会のレガシーを引き継ぎながら、障がいのある方が住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせる共生社会の実現に向け、取り組んでまいります。

今後とも、障がいのある方と本市とのパイプ役である貴会の皆様にお力添えいただきながら、各種施策事業を積極的に推進してまいりますので、引き続き、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴会のみますますのご発展と、会員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます、新任の挨拶といたします。

視覚障害者向け 「福祉機器展2023」を開催

3月5日(日)、総合福祉センターで福祉機器展を開催しました。

宇都宮市障害者福祉会連合会

視覚障害者向け「福祉機器展2023」

入場無料

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事前予約制とさせていただきます。

と き 2023年 3月5日(日)
午前10時～午後3時

と ころ 宇都宮市総合福祉センター10階 大会議室

内 容 点字ディスプレイ、プレストーク
拡大読書器、PCソフト各種、ルーベ
受光眼鏡、白杖、単独歩行ナビゲーション
等の各種機器

○コーナー企画
東日本盲導犬協会：盲導犬の紹介・体験



主催：社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉会連合会
後援：宇都宮市、社会福祉法人 宇都宮市社会福祉協議会
協賛：社会福祉法人 新光社と社会福祉インテグラー
公益財団法人 東日本盲導犬協会 (敬称略 敬不申)

※展示の順番は各社ブースから変更、加工させていただきます。



コロナウイルス感染拡大の影響もあり5年ぶりの福祉機器展は、市内外より200名を超える来場者、出展企業・団体についても16社と、前回を上回る参加をいただきました。

出展機器は拡大読書器、点字ディスプレイ、デイジープレイヤー、視覚障がい者用PCソフト、白杖等々に加え、今回は靴に装着できる「単独歩行ナビゲーション」を開発した企業が新たに展示していただき、来場者の関心を集めていました。

わく・わくショップU 開設記念日特別販売会を開催

5月19日(金)、市役所1階市民ホールにて、開設記念日特別販売会「春の宇都宮Cityバザール」を開催いたしました。

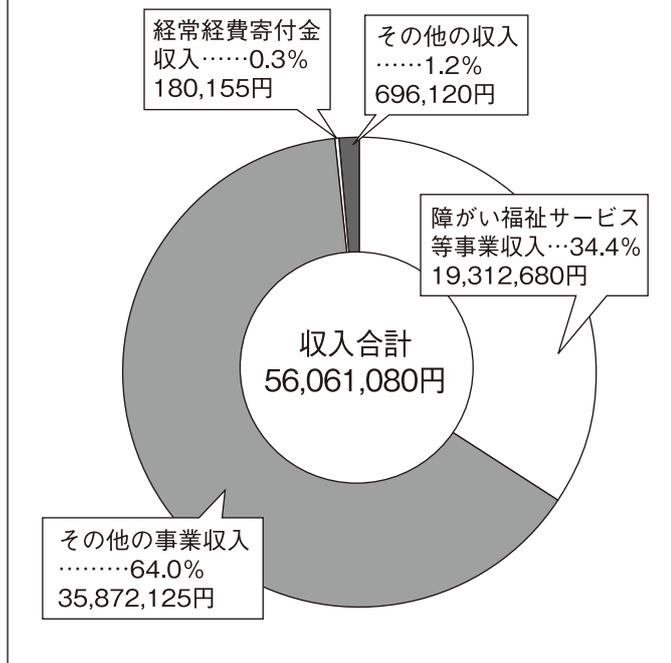
参加施設は20施設とコロナ前と変わらない出店に、販売会を心待ちにしていた多くの来場者が買い物を楽しみました。

今後は7月、12月、2月に開催する予定です。詳しくは「わく・わくショップU」のSNSをご確認ください。その他の各種イベントの情報も順次更新していきます。

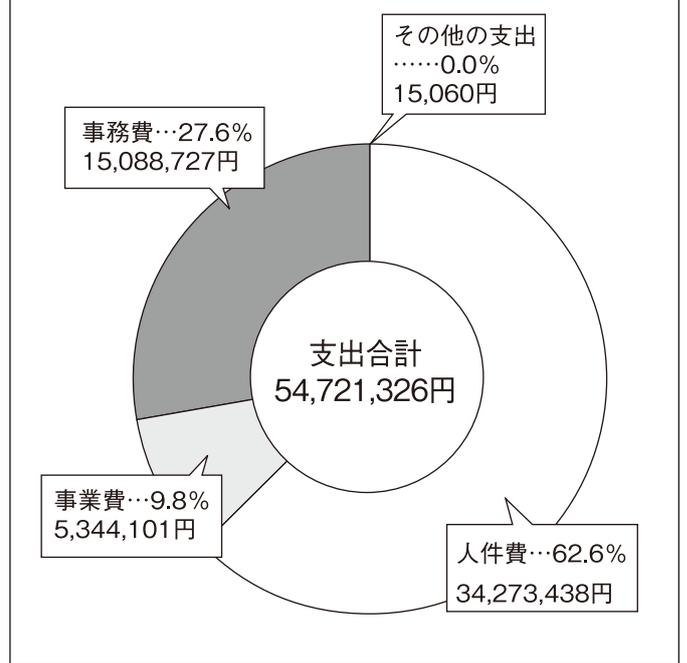


令和4年度 決算報告

収入内訳



支出内訳



令和5年度 宇都宮市障害者福社会連合会役員

役職	氏名	部会
会長	麦倉 仁巳	肢体
理事	駒崎 茂	肢体
〃	山崎 富子	父母
〃	半田 江美	聴覚
〃	竹内 清	河内
〃	田中 雄二	視覚
〃	高根沢 昭	発声
〃	小杉美津江	学識
常務理事	南木 孝昭	事務局
監事	相原 節子	父母
〃	今泉 弘美	学識
〃	中山 悦夫	学識
評議員	佐藤 紀夫	肢体

役職	氏名	部会
評議員	小口 巖	肢体
〃	田邊 静子	河内
〃	櫻井 和子	河内
〃	小野 和良	視覚
〃	岩井 恵	視覚
〃	関矢 誠	視覚
〃	稲川 和彦	聴覚
〃	齋藤 幹治	聴覚
〃	石井 正子	聴覚
〃	小林 啓子	父母
〃	市瀬 俊子	父母
〃	小森 和江	父母
〃	高橋 勝巳	発声

役職	氏名	現役職等
評議員	藤原 由房	宇都宮市自治会連合会会長
〃	釵持 幸子	宇都宮市民生委員児童委員協議会会長
〃	松本カネ子	宇都宮市ボランティア協会会長
〃	平手 義章	宇都宮市社会福祉協議会事務局長

特別職

役職	氏名	現役職等
相談役	小島 泰久	宇都宮市保健福祉部長
相談役	中村 富頼	宇都宮市肢体障害者福社会顧問
顧問	秋山 昌紀	宇都宮市社会福祉事務所長

苦情解決第三者委員

久保 哲夫	元宇障連事務局長
-------	----------



ボウリング大会

2月11日(土)・祝、インターパーク+1(プラスワン)ボウリング場で、第27回宇障連ボウリング大会を開催しました。

前日には雪が降り、開催できるか心配もありましたが、無事に3年ぶりの大会を開催することができました。この大会でしかボウリングをしないという方や、この日のために練習してきた方など総勢47名。皆、和気あいあいと楽しくプレーしていました。終了後には、上位3名と飛び賞の方に賞品が贈られました。

宇障連からのお知らせ

◆令和4年度の寄付者

・宇障連を支援する会 横尾光夫様
ありがとうございます。

宇障連構成団体紹介

●河内地区身体障害者福祉会



▲平成30年度の活動での一枚



◀河内の桜堤

当福祉会は平成19年に宇都宮市への編入合併後に「旧河内町」「旧上河内町」の会員が合同でスタートしました。河内地区は自然環境に恵まれ、鬼怒川添いには自然を大切にしたい桜堤、パークゴルフ場などがあり宇都宮市民の憩いの場になっています。

活動は、宇障連事業への参加の他に河内部会の行事として「地域のみなさんとの交流」を目的として、一

泊旅行や日帰り温泉旅行を行っています。

当福祉会は視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者、心臓機能障害者等の方々が会員となっており、お互いの違う障害を認め合いながら活動をしています。

数年前からの新型コロナウイルス感染症防止や会員の高齢化等のため会員数が激減していますが、機会あるごとに、福祉会の役員会を開催し、情報交換をしながら会員減の防止に努めています。

河内地区で身体障害者手帳をお持ちの方、私たちと一緒に活動しませんか？手帳をお持ちでない方の賛助会員も大歓迎です。興味のある方はご連絡ください。

●宇都宮喉友会

宇都宮喉友会は設立して22年、喉頭がんや下咽頭がんなどにより声を失い、声を失った人たちのため、食道発声、E.L発声による発声練習をしています。

◆**食道発声**：口や鼻から食道内に空気を取り込み、その空気をうまく逆流させながら食道入口部の粘膜のヒダを新声門として声帯の代わりに振動させ音声を発する方法

◆**E.L発声**：E.Lという人工発声器を頸部に押し当てるとE.Lの音は頸部の皮膚から身体の内側に伝わり口の中に響き、舌や唇を動かす

ことで話す方法
宇都宮喉友会と喉摘会小山教室の2つの発声教室で栃木県喉摘会を構成しており、その上には創立50年以上のNPO法人日本喉摘者団体連合会があります。

日喉連では厳しくも励みになる「喉頭摘出者発声訓練士資格認定」を行っています。

見学を希望の方はご連絡ください。



発声練習の様子



新職員紹介



赤羽法夫さんの後任として工賃向上等支援事業を担当する坂本悦子です。

どうぞよろしくおねがいします。

今後の行事予定

《8月》

29日(火) 栃木県民福祉のつどい

《9月》

16日(土) 地域交流事業

24日(日) 栃木県障害者スポーツ大会

《10月》

7日(土) うつのみやふれあい文化祭

28日(土) うつのみや

ふれあいスポーツ大会

《11月》

4日(土) 栃木県障害者文化祭

23日(木) 宇都宮市民福祉の祭典

《12月》

1日(金) 栃木県

身体障害者福祉のつどい

2日(土) ハッピーフェスティバル

8日(金) わく・わくショップU販売会

※予定が変更になる場合は会員の皆さんにご連絡いたします

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。

点訳 点訳グループ

「かたむり」の皆さん

音訳 デイジー全文訳センター

「アクセス」の皆さん

ご協力ありがとうございました。